

希望が香る、広報誌。

みみはら

vol. 20

ご自由にお持ち帰り
ください

春

特集1

糖尿病特集

～重症化予防の取り組み～

特集2

消化器内科外来増設にあたって

～『生きることは食べること』～

特集

代謝・
膠原病内科

耳原の糖尿病治療

糖尿病は生活習慣そのものを見直し実践することが基本です。食事療法と運動療法が最も有効かつ安全で、薬の工

夫は次の選択肢です。私たちは生活習慣そのものにアプローチするために栄養士、運動療法士が常駐し、クリニックと病院でシステムを継ぎながら血糖コントロールの安定と維持に努めています。

糖尿病特集 ～重症化予防の取り組み～

医長 岩崎 桂子

糖尿病の教育入院

教育入院の基本コースは11日間です。食事、運動療法に加えて薬物インスリンも使用して血糖値を下げると、元来持っていたインスリンの効きが良くなり分泌も改善してきます。同時に正しい知識を得てモチベーションを上げるためのレクチャーを受講いただきます。

入院期間は少し長いですが、自然治癒力を伴ってよい着地点を迎えることができ、体が自然に血糖値を下げるフェーズに入り体質改善していきます。重症の方でも入院で1週間するとインスリンを中止していける人もいます。



各自の適正量を、計量器を用いながらおひつからご飯をよそい配膳。野菜を使った調理実習、トレーナーと一緒にする散歩、ストレッチなど家に帰っても続けてもらえるよう、その人にあつたメニューを組みつつ体質改善を図ります。



治療上の変化を大切に

モチベーションが継続できる患者さんと、血糖値が元の値に戻ってしまう患者さんとは半々の印象です。ただ、血糖値改善の余波で良い作用が残る期間があるので、リセットする意味で年に1度入院されるリピーターもいます。

す。大歓迎ですね。当院の患者は中断者が少ないと聞いています。入院中は、楽しく治療に向き合いながら、主治医やその他スタッフと患者さんとの良好な関係が築けているからではと考えています。

治療を中断してしまうと、合併症が進行し知らないうちに腎不全や眼底出血を生じる可能性が高くなります。決して中断してほしくないのです、長く継続的に診察に通い続けてほしい。

目標値の数字の改善が動機付けになる方や、逆にプレッシャーに感じる方も。家族構成・趣味・個人的なことや介護の話など理解して信頼関係を築いていくことを心がけています。診察の終わりにドアを閉める時の顔を見て、浮かない表情が見られたらフォローを入れます。もちろん数値についての話や目と腎臓の合併症の話も挟みます。穏やかな顔、笑顔を大切にしつつ、信頼の上で患者さんの行動変容を支えたい。

腎臓内科など他科連携

糖尿病の患者は動脈硬化がすすみやすく、合併症を発生する確率が高いので、未然に防ぎたいし、がんも初期で見つきたい。外来では誕生日に本人と相談しながら頸動脈エコー、心臓のエコー、胃カメラ、腹部エコーの検査を勧めています。他科の専門医の先生との連携も大切です。腎臓内科とは段階に応じて併診やシフトチェンジのタイミングを相談しています。



研修医指導に取り組んでいます

糖尿病の妊婦さんに安全なお産を

当院の分娩希望増加とあわせて妊娠糖尿病治療にも力をいれています。大阪母子医療センターで研修をさせて頂き、妊娠初期、中期、後期に合わせて、適切に血糖値の測定をしながら食事を分食にしたり、乱高下する血糖値を厳格にコントロールして母子ともに安全な出産のための細やかな治療を行っています。

近隣のクリニックさんへ

当院のスタンスとしては、断らず柔軟に地域に寄り添いたい。紹介患者には、症状が良くなったら紹介元に戻ることを説明します。耳原で診察を続けてほしいなど要望には柔軟に対応していくのでご相談いただきました。血糖が悪くても、良くても、紹介目的にあった短期・長期、外

来・入院など問わず、何か困ったらご相談やご紹介ください。生活習慣にアプローチした包括的なケアをしています。

患者さんへ

糖尿病は一生つき合っていく病気。しっかりと治療を続ければ健康な人と同じような生活がおくれます。ただ中断してしまうと失明したり、透析導入になったり人生が一変してしまいます。良いときも悪い時も共有し一緒に考えていきましょう。

代謝・膠原病内科
医長

岩崎 桂子

いわさき けいこ

● 主な認定資格
日本内科学会 認定内科医
臨床研修指導医

● 所属学会
日本内科学会
日本糖尿病学会





く

す

り

の

ハ

ナ

シ

vol.16

花粉症の免疫療法

今年の冬は暖かったため、例年より早く花粉が飛散しており、花粉症の方はつらい思いをしているのではないのでしょうか。

現在、日本人の4人に1人が花粉症であると言われています。

花粉症の発症メカニズムは、体内に入った花粉を異物と認識し、排除しようとするときにヒスタミンなどのアレルギー誘発物質が放出されることで、くしゃみや鼻水等の症状が引き起こされます。

花粉症の治療には、薬物治療やレーザー療法などという

ものがありますが、いずれも対症療法でしかありません。

近年、根治治療として「減感作療法」が注目されています。これは微量のアレルゲンを少量から投与し、徐々に量を増やしていくことで、体をアレルゲンに慣らし、症状を和らげる方法です。スギ花粉症に対する免疫療法では、症状の軽減や消失が80%以上と、その高い効果が確認されています。以前は皮下注射が主流でしたが、2014年からスギ花粉症に対する「舌下免疫療法」が保険適用になり、より身近になりました。

これは錠剤や液体の花粉のエキスを舌下に投与する方法です。この療法はすぐに効くわけではない時期から開始し、最低でも2年間続けることで症状の寛解や完治を期待できる療法です。また、少量とはいえ体にアレルゲンを入れるため、アレルギーの症状が出る可能性もあり、注意が必要です。

減感作療法について興味のある方は、医療機関に相談してみてください。



特集

消化器内科

科外来増設にあたって
『生きることは食べること』～

消化器内科

河村 智宏

近年、早期のものであれば胃がん・食道がん・大腸がんの治療が、胃カメラ・大腸カメラでできるようになりました。内視鏡の治療では痛みや術後の後遺症がほとんどなく、これまでの生活と変わらず食べたり飲んだりすることが可能です。

また炎症性腸疾患という、消化管に炎症が起き腹痛や出血を起すような病気も近年増加しています。

私たち消化器内科の仕事の一

番の目的は患者さんの『食べた』をかなえ、『食べる』ことを助けることにあると考えています。これまでも消化器センターとして外科・内科とのコミュニケーションを密にとり、患者さんにとって一番良い治療ができるよう努めています。消化器内科を増設することでより多くの地域の患者さんを受け入れ、多くの人の『食べる』を助けることができると考えています。

消化器内

胃がん
ピロリ菌という細菌が胃に炎症を起こし、そこからがんが発生するという原因が明らかとなり、ピロリ菌を除菌することで胃癌の発生率自体を下げる事が出来ています。しかし除菌をしても胃癌のリスクは残存してしまうため、健診をうけること、また胃がんを早期に発見することが大事です。

食道がん
原因が特定されておらず、喫煙や飲酒などがリスクになるといわれています。食道がんは小さいものでも進行が早く、発見されたときには手術や化学放射線療法など長期にわたって治療が必要になることも少なくないです。

大腸がん
原因に関しては特定できておらず、大腸がんを減らす治療はまだ確立されていません。そのため健診で便潜血検査を行うことや、症状があれば大腸内視鏡などの検査を行うことが大事です。癌のリスクのあるポリープは小さいものであれば日帰りで切除を行っていますが、大きなものは通常の切除の方法では取れない場合もあります。

上記のようにがんを発見するためには症状の出ていないうちから健診を受けることが重要になります。その中で非常に早期の段階でがんを発見できれば、身体に傷をつけることなく1週間程度の入院期間で治療することが可能です。「胃カメラや大腸カメラはしんどい」という方も多いとは思いますが、治療に関しては鎮痛剤を使用し苦痛なく行うことを心がけており、特に早期胃がん、食道がんの内視鏡治療を受けられる方は、全身麻酔をかけていなくても「全然知らない間に終わってしました」とおっしゃられる方がほとんどです。

また近年、炎症性腸疾患という病気が増加しています。この病気の原因ははっきりわかってはいませんが、自分自身の免疫で自分自身の細胞を攻撃してしまうような要素があると考えられています。その引き金となるのがストレスとも言われており、現代社会においては誰にで

もかかってしまう可能性のある病気です。

炎症性腸疾患を分類すると、潰瘍性大腸炎とクローン病がその大半を占めます。潰瘍性大腸炎は特に肛門から発生して他の大腸に連続して炎症が広がっていく病気です。腹痛、血便、下痢の症状、ひどい場合には熱や

関節痛、体重減少も生じることがあります。

クローン病は大腸だけでなく胃や小腸も含めた全消化管に炎症がおきる病気です。上記のような潰瘍性大腸炎の症状に加え、炎症を起こした腸管が細くなり詰まってしまうと腸閉塞をおこすこともあります。

治療に関しては内服治療から点滴など免疫調整薬も使用しながらの治療になり、重症の場合に使用する薬は副作用の発生にも気をつける必要があります。また腸閉塞を起こし薬でコントロールが完全にはできない場合、手術も必要になります。そのため当院では炎症性腸疾患に対しては内科、外科とも診療にあたり、適切な治療を行えるように日々努めております。

消化器内科

河村 智宏

かわむら ともひろ

●メッセージ

お気軽に何でも
ご相談ください



免疫に強い身体をつくる！

適切な栄養・休養に加え、適切な運動習慣はストレスや感染に対する抵抗力（防衛体力）を強化されると言われています。また適度な運動は免疫を高め、感染症や癌の予防に有効とされており、一方で激しい運動やトレーニングは免疫機能を弱め、炎症やアレルギーを助長するとされています。（免疫学的視点からは、「楽」から「ややきつい」程度の中等度運動は安全と言われていて、免疫抑制状態が生じないような運動とされています）

参考文献：鈴木克彦：運動と免疫.日本補完代替医療学会誌、2004；1：31-40、厚生労働省HP 健康日本21（身体活動・運動）
https://www.mhlw.go.jp/www1/topics/kenko21_11/pdf/b2.pdf

運動トレーナーの どこでも 体操

Lessons **20**



健康増進室 健康運動指導士 春川 智弘

略歴／大阪ビジネスカレッジ専門学校 スポーツ学科
趣味：ドライブ・スポーツ観戦
読者へひと言：日々の運動に取り入れてみましょう！

高齢者の運動目標

比較的早期から低下する歩行・移動動作に関わる能力を維持する。

年齢や能力に応じて以下の運動のうち1つ以上を行いましょう。

- ストレッチングや体操を1日10分程度行う
- 散歩やウォーキングを1日20分程度行う
- 下肢および体幹部の筋力トレーニングを1週間に2回程度行う
- レクリエーション活動や軽スポーツを1週間に3回程度行う

「壁つきスクワット」

8～12回／1セット×2～3セット行いましょう





しょうの 庄野 よしはる 嘉治 院長

和歌山県立医科大学医学部卒業 同大学第二外科学教室
 国保橋本市民病院 外科 医員
 国保野上厚生総合病院 外科 医員
 国立がん研究センター 外科学 (肝胆腸) 療法課程
 和歌山県立医科大学付属病院 救急・集中治療部 助手
 独立行政法人国立病院機構 大坂南医療センター 外科
 外科医長、肝臓外科医長、がん相談支援室長
 泉大津市立病院 外科・内視鏡外科 主任部長、緩和ケアサポートチーム 委員長
 岸和田徳洲会病院 外科 外科部長
 漢方内科クリニックにて非常勤医師として勤務
 2020年2月 しょうのクリニック 開院

内科 ・ 婦人科 ・ 外科

しょうのクリニック

内科・外科・内視鏡・婦人科を担える
 貴重なクリニックとして存在感を発揮しつつ
 地域に根差した医療を目指します

医師を目指したきっかけは？

“人のためになる仕事”を一生続けられると考え選
 びました。

貴院の特色はどんなところでしょうか？

標榜科目は内科・外科・婦人科・内視鏡内科です。
 医師2名が在籍、婦人科・内科の診療は女性医師が担
 当し、内科・外科・内視鏡内科は男性医師が担当しま
 す。いろんなことでお悩みな方にもクリニック内で選
 択して診療を受けて頂けます。

また、消化器疾患について内科・外科診療を行い、
 特に基幹病院で長年にわたり肛門外科手術を担当して
 きた医師が肛門外科の日帰り手術を行います。

地域医療について

急性期の総合病院と患者様の自宅の間に入って、患
 者様自身と御家族がほっとできるような施設を目指し
 ます。

耳原総合病院への希望・要望

いつもお世話になり有難うございます。臨床力と人
 間力の強いスタッフの方々ばかりなので信頼して紹介
 できると考えております。よろしく願います。

最後に一言お願いします

地域に根ざした医療を目指します。よろしく願
 います。



消化器疾患のプロフェッショナルである院長先生が
 内視鏡を担当します。(月)(水)(金)には婦人科の診
 療もしております。



気さくで朗らかなキャラクターの院長先生に、明
 り笑顔のスタッフの皆さまが集まりました。

スタッフ

医師2名・看護師4名・事務6名

設備・機器

血圧脈波検査装置、レントゲン、骨密度測定装置、超音波検査装置、上下部内視鏡検査システム、スパイロメーター、ホルター心電図、一酸化炭素ガス分析器



外来診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	×	○	○	○
13:30~16:00 検査 処置のみ	●▲	●	▲	●	●▲	×
16:30~19:30	○	○	○ ^{18:30 まで}	○	○	×

●:検査・処置(▲:婦人科) 休診:水曜午前、土曜午後、日曜、祝日

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町3082-1

TEL.072-240-2370

URL:https://shonoclinic.com/





てらもと よしふみ
寺本 佳史 院長

近畿大学医学部卒業 同大学附属病院 脳神経外科
大阪府立母子保健総合医療センター 脳神経外科
羽曳野藤本病院 脳神経外科 沖崎協同病院 脳神経外科
岸和田徳洲会病院 脳神経外科
近畿大学医学部付属病院 脳神経外科 助手
りんくう総合医療センター市立東佐野病院 脳神経外科 医長
近畿大学医学部付属病院 脳神経外科 講師
地方独立行政法人りんくう総合医療センター
脳血管外科医長 兼 リハビリテーションセンター副センター長
医療法人連利会友愛会病院 副院長
2020年2月 てらもと脳神経外科クリニック 開院

脳神経外科 ・ 脳神経内科 ・ リハビリテーション科

てらもと脳神経外科クリニック

多職種による連携を強みとし、気軽に受診できるかかりつけ医を目指します

【医師を目指したきっかけは？】
中学3年の秋に父が他界したのですが、その父の最後の言葉が、「この位の病気を治せる医者になったらどうや！」でした。この言葉がきっかけとなり、父の様な若くして命を落とす人を少しでも減らせることができるのであればと思ひ、医師を目指すようになりました。

【貴院の特色はどんなところでしょうか？】

最新鋭のMRIを完備しており、同日検査、同日結果説明を行います。また近隣のクリニックの先生方からも依頼頂ければ検査を行い、結果をお返しさせて頂きます。脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）の可能性の早期発見はもちろんの事、一度発症された方に対して再発防止に努めてまいります。また、普段から頭痛やめまい、手足のしびれやふらつきなどに悩まされている方、頭部打撲をされてご心配な方や、物忘れが気になる方、認知症の方への検査、診断、治療を行います。また脳卒中後でリハビリテーションの継続をご希望の方にも、理学療法士がマンツーマンで施術を行うことで地域医療に貢献したいと考えています。

【地域医療について】

地域医療には多くの職種の連携が非常に重要であると考えており、当クリニックのロゴマークにもその気持ちを込めています。当クリニックだけでは解決出来ないことも、他の医療機関や介護施設と連携を取りながら、地域住民の皆様へ健康で安心して暮らしていただけるようお手伝いさせて頂きたいと思っております。

【耳原総合病院への希望・要望】

堺市を代表する総合病院の一つとして、患者様に寄り添った医療を実践されておられ、非常に心強く感じております。今後も専門治療が必要な患者様が来られた際には連携して診療に当たって頂ければと考えております。また、貴院で治療された脳卒中後の患者様の在宅への架け橋として当院と連携して頂ければ幸いです。

【最後に一言お願いします】

2020年2月になかもずに新しく開院させて頂きました。脳神経外科と聞くと、少し敷居が高い印象を持たれる方も多いと思います。私達はそのイメージを取り払った、「地域の脳神経外科のかかりつけ医」を目指しています。気軽に受診して頂き、不安や心配事はできるだけその日の内に取り除いて、地域の方々笑顔で健康に暮らして頂ける様にスタッフ一同精一杯取り組んでまいります。



最新のMRIを完備し、同日検査同日結果説明いたします。診診連携でもご利用ください。



暖かく柔らかな雰囲気スタッフの皆さまには、どこかしら芯の強さも感じます。頼りになります。

スタッフ

医師1名・看護師3名・臨床検査技師1名・PT2名・OT1名・事務5名

設備・機器

MRI、X線撮影機、超音波診断機器、各種リハビリテーション器材、等



外来診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
14:00~16:00 <small>予約のみ</small>	○	○	○	×	○	×
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×

休診：木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町3082-1

TEL.072-240-2021

URL <https://www.teramoto-clinic.jp/>



MIMIHARAな人

大切にしているものは？

思い出が詰まった古い写真です。

マイブームは？

「いつかやってみたいことリスト」を埋めることです。

なぜ、今の職場に？

実習生として約2ヶ月間お世話になり、自分らしく働ける場所だと感じたからです。優しい先輩方や同期のおかげで、それが叶って毎日充実しています。

あなたからみた、耳原は？

スタッフが患者さんに優しく、患者さんからも慕われている病院だと思います。

大切にしているものは？

「目は口ほどに物を言う」目を見れば言いたいことが伝わり、相手の事もより理解できるので、目をみて会話するように心掛けています。

マイブームは？

喫茶店。昔ながらの味が好きでプリンやナポリタンをよく頼みます。レトロな雰囲気はとても落ち着き、長居してしまいます。

なぜ、今の職場に？

医療系の仕事に興味があり、その中でも患者さんに元気や希望を与えられる素敵な仕事だと感じ、リハビリを目指すように。育った堺に病院があることと、スタッフの雰囲気が暖かく働きやすい環境です。

リハビリ 理学療法士
(入職1年目)

TAMAI SATOKO

玉井 里子

大阪府出身

同じ大学出身・同期の理学療法士コンビ

リハビリ 理学療法士
(入職1年目)

TAKANAKA MARI

高中 麻里

大阪府出身

食べる
ことは

生きる
こと

20

瀧川 和義 (調理師)

この時期にしか食べることで
きない春キャベツを生かしたレ
シピに仕上げました。

向井 杏菜 (管理栄養士)

旬の食材を使うことで四季を感
じていただけたらと思います。

春キャベツの香味ソースがけ

旬の食材を生かして

キャベツは安くて使い勝手の良い野菜ですが、安いだけでなく栄養もたっぷり含まれた優れた野菜なんです。特にビタミンCやUが沢山含まれています。

ビタミンCにはとても強力な抗酸化作用があり、肌荒れを防止する効果も。また、免疫力アップや疲労回復にも効果があります。特に緑色の濃い外側の葉っぱの方が多く含まれています。

そしてビタミンU。あまり聞き慣れない成分ですが、別名のキャベジンと聞けばわかる方も多しはず。胃酸の過剰な分泌を抑え胃や十二指腸の健康を保つことに優れています。

これらは水と熱に弱い栄養素となっています。そのため、今回のレシピではサッと火を通す程度にすることでなるべく、栄養素を逃がさないような調理方法に。これは、生のままでも柔らかくみずみずしい葉をもつ春キャベツの特徴があるためです。春には他にもたくさん旬の食材があります。旬の食材の特徴を生かしながら美味しく食べて健康になりましょう。

材料 2人分

[1人あたり] エネルギー/414Kcal 塩分/1.6g

春キャベツ…1/2玉 豚バラ肉…160g アスパラガス…2本

トマト…1/4個 長ネギ…1/2本

ソース (A) 醤油…大さじ1 酢…大さじ1

ごま油…大さじ1/2 いり胡麻…大さじ1

砂糖…大さじ1/2 オイスターソース…小さじ1

にんにく…適量 しょうが…適量

作り方

- 1 春キャベツは手で適当な大きさに手でちぎりサッと茹でる。アスパラガスは皮をむき、四等分にしてから茹でる。
- 2 豚バラ肉は①で使用したお湯を使い茹でる。
- 3 長ネギ、にんにく、しょうがをみじん切りにし、ソース (A) の調味料を合わせてソースを作る。
- 4 お皿に①、②、1/8にしたくし形切りのトマトを盛りつけ食べる直前に③のソースをかければ出来上がり。

ポイント 春キャベツは水分量が多いため過熱しすぎるとベチャっとなり。茹でる時間は短めに。

春キャベツ、アスパラガス、豚バラ肉は茹でた後は、ザルやキッチンペーパーなどでしっかりと水気を切りましょう。水分が残ったままだと味が薄くなってしまいます。

こんなところにもアートを発見！

耳原総合病院は地域住民の100円のカンパを希望の芽としてこの地に根ざし、育まれてきました。

医療が行き届かなかった時代、民家の中2階から始めた診療は、病を治すだけでなく、心にもほっと希望のあかりが灯ることを祈っていました。

その原風景を、新しくなった病院にも引き継ぎたい、そんな思いから全てのアートを「希望のともしび」とし、院内の随所に展開しています。

詳しくは総合案内に置いてある「Art map」もしくは病院ホームページをご覧ください。



精神科 待合室・カウンセリング室

建て替わってからまもなく「広くて真っ白でキレイなんですよ、でも違うんです」という精神科スタッフの言葉とともに依頼がありました。

「いろいろな葉が成る木」というコンセプトで待合室の壁面に描かれています。季節によって替えられるモチーフもあり、患者さんも楽しみにしてくださっています。



カウンセリング室には落ち着いて面談いただけるように、ブルーを基調にコーディネート。エントランス造形アートの作家、YUKO TAKADA KELLERさんの作品も壁面に飾られています。

臨床検査科 脳波測定室

たださえ検査ときくと怖く、不安な気持ちを持ちますが、脳波測定という静かで閉塞された空間で受ける検査となるとなおさら不安に…長時間リラックスいただけるよう、どこか懐かしくて落ち着く堺のまち並み、花々を表現したモチーフをシールで施しています。原画は堺の親善大使でもある銅版画家の安井寿磨子さんです。



院内でいろいろなアートと出会っていただけますように…

ぽこちゃんのヘルニアだより

～再発率0を目指して～

こんにちは。お久しぶりです。ぽこです。

例年よりは暖かい冬だったのではないのでしょうか？

暖かくて喜んでられる方、反対に困ってられる方も

おいでになるかもしれませんね。

温暖化が進むとどうなるのでしょうか？怖い気がします。

山ちゃんより

最近、30年近い鼠径ヘルニアの成績を振り返る機会がありました。小児からご高齢の方まで色々なヘルニアを見させて頂いたことを思い出します。同時に一緒に手術をしていただいた先生、スタッフの顔も思い出されます。

前にも書きましたが、ヘルニアの手術もいろいろなことが起こります。特に記憶に残るのは、再発や出血などの合併症です。手術で治るのが当然と思われる

ほとんどの方にとっても再発は悪夢です。この率をなるべく0%に近づけるために種々の取り組みを進めてきました。現在ここ10年の成績は0.12%。

(ノ)



ぽこつぶ @△♪×¥●&%・35分

うがいと手洗い、換気はしっかりとしましょうね

👉 5 🔄 10 ❤️ 15 📧



(ノ) ほぼ1000人に1人と
全国平均(1から数%?)を
大きく下回っているとほっとしています。

とはいえ、手術後の痛みや、

水腫(水たまり)など

以前に比べれば軽減したものの、
全くなくなったわけではありません。

今年も再発率0%、手術後の生活の質向上を
目指して頑張りたいと思います。

お問い合わせ

予約センターの「ヘルニア専門外来」
とお伝えください。

072-241-0501(代表)

副病院長
消化器センター長

山口 拓也

主な専門領域 大腸肛門科 内視鏡外科
ヘルニア
主な認定資格 日本外科学会 外科専門医 指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了



		月	火	水	木	金	土	
内科	総合診療センター外来 紹介・午前診	岩崎桂子(糖尿病) 田端志郎(総合内科)	大矢亮(総合内科)	田端志郎(総合内科)	藤本卓司(総合内科) 大矢麻耶(腎臓内科)	松田友彦(消化器内科)(1)(3)(5) 植田祐美子(腎臓内科)(2)(4)	-	
	総合診療センター外来 紹介・午後診	(予)川口真弓(リウマチ)	-	-	-	-	-	
	ER・全日	24時間随時対応 ※TELにて事前にお問い合わせください。						
循環器センター外来	午前診	-	(予)鈴鹿裕城	(予)石原昭三/(予)松岡玲子	(予)具滋樹/(予)松岡玲子	(予)松岡玲子	不整脈外来(1)(3)/ペースメーカー外来(2)(4)	
	午後診	(予)交代制/(予)梁泰成	-	-	-	-	-	
心臓血管外科	午前診	※手術日	-	※手術日	-	(予)井上剛裕	-	
	午後診	※手術日	(予)礼琢磨	※手術日	-	-	-	
消化器センター外来	午前診	(予)山口拓也	(予)外山和隆	(予)岩谷太平	(予)吉川健治	(予)平林邦昭	-	
	午後診	-	-	-	-	(予)河村智宏	-	
外科	午前診	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	大腸内視鏡予約外来 9:15~	
		(予)山口拓也	(予)戸口景介	※手術日 平林邦昭	(予)裕野孝治 (予)富岡百合子	(予)吉川健治 外山和隆(2)(4) 今井稔(1)(3)(5)	※手術日 平林邦昭	(予)戸口景介(1) (予)裕野孝治(乳腺・甲状腺)(2)(5) (予)平林邦昭(3) (予)裕野孝治(4)
		※月・水・木に直接来院の方は、当日予約診の医師が交代で診せていただいております。						(予)下肢静脈瘤外来(非常勤)
	午後診	-	※手術日	-	(予)吉川健治(肝胆脾腫瘍) (予)山口拓也(ヘルニア) (予)裕野孝治(乳腺・甲状腺)	※手術日 (予)乳腺(非常勤)	-	
	夜診	(予)ピロリ菌除菌外来(1)(3) 17:30~19:00	-	大腸内視鏡予約外来 17:30~ (予)平林邦昭(予)裕野孝治 17:30~19:00	-	-	-	
緩和ケア外科	午前診	-	(予)症状緩和外来(2)(4)	(予)緩和面談	-	-	-	
呼吸器外科	午前診	-	-	-	-	(予)佐藤泰之	-	
	午後診	(予)佐藤泰之	-	-	-	-	-	
整形外科	午前診	(予)吉岡篤志	※手術日	(予)河原林正敏 (予)吉岡篤志	※手術日 (予)石井崇大(脊髄外科)	(予)吉岡篤志(関節外科)	-	
	午後診	(予)吉岡篤志(骨格外科)/(予)守津汀	※手術日	-	※手術日/(予)福録潤	-	-	
	夜診	-	-	(予)吉岡篤志 17:30~19:30	-	-	-	
脳外科	午後診	(予)田中禎之 13:30~15:00	-	-	-	(予)非常勤 14:00~16:00	-	
頭痛・てんかん	午前診	-	-	-	-	(予)清水恵司	-	
	午後診	-	-	(予)清水恵司	-	-	-	
泌尿器科	午前診	交代制 ※新患のみ	(予)田原秀男 (予)大森直美	※手術日	(予)田原秀男 (予)沖貴士	(予)沖貴士 (予)大森直美	-	
	午後診	※手術日	検査	※手術日	ESWL	検査	-	
皮膚科	午前診	-	-	-	-	(予)内田修輔	-	
歯科口腔外科	午前診	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○(2)(4)	
	午後診	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	(予)○	-	
産科	午前診	(予)交代制	(予)交代制	(予)交代制	-	(予)交代制	(予)交代制	
	午後診	(予)交代制	-	(予)交代制	-	(予)交代制	-	
婦人科	午前診	内田学/岩田隆一	坂本能基/松原侑子	松岡智史/瀧口善弘	※手術日	小川萌/高木力	(予)交代制	
	午後診	婦人科特診	-	婦人科特診	※手術日	婦人科特診	-	
精神科※	午前診	(予)非常勤/(予)非常勤	(予)非常勤	-	(予)非常勤	(予)非常勤	(予)非常勤(2.4)	
眼科※	午前診	-	-	(予)非常勤	(予)非常勤	(予)非常勤	-	

※医師の休暇等で診療体制に変更がある場合がございます。事前にお問い合わせください。
 ※内科疾患全般は総合診療センター外来(紹介制)でお受けいたします。
 紹介状をお持ちでない方は、みみはら高砂クリニックもしくはお近くのかかりつけ医を受診願います。
 尚、緊急・救急時のER(救急外来)に関しては24時間対応をさせていただきます。
 ※小児科では緊急時(診療・検査・入院など)のみお受け入れ致します。事前にお問い合わせください。
 (6月からは紹介患者さんのみお受け入れ致します)
 ※小児科一般診療はみみはら高砂クリニック(月~土)受付時間 8:30~11:30

※分娩予約は随時受け入れております。産科受診に関しましては、医師指定はできません。
 ※精神科は非常勤のみの完全予約制ですので、事前にご予約ください。(緊急のお受け入れはできません)
 ※精神科は外来のみで、ご入院はお受けしておりません。
 ※土曜日、新規の患者さんのお受け入れはしておりません。
 ※症状緩和外来のご予約に関しては、事前にお問い合わせください。
 ※眼科は白内障の手術を主とした手術適応の患者様をお受けしています。定期フォローをする機能はございません。



地域医療
支援病院

みみはら
VOL.20
Spring
2020年4月10日発行

発行人 奥村 伸二 発行 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
 〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地 TEL 072-241-0501(代表)
 各医療機関様専用 直通ダイヤル TEL: 072-241-0324 FAX: 072-241-0208
 URL <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>